

立ち飲み 女性も気軽に

女性や若者、インバウンド（訪日外国人）をターゲットにした立ち飲み店が、福岡市内で相次ぎ開店している。会社員らを対象に酒と簡単なつまみを出す従来の店とは異なり、口当たりがよく飲みやすい酒やフレンチ料理も出し、内装を含めてしゃれた感じの店にして誘客する。気兼ねな飲食需要に対応し、回転率を上げて収益を高める。

映える内装、飲みやすい酒…

辛子めんたいこ風味のせんべい「めんべい」を製造する山口油屋福太郎（福岡市）は、繁華街・天神のビルに立ち飲みバル「カクウチFUKUTARO」を開業した。壁一面に松の木を描くなど和モダンでまとめた店内

ワインなど女性が飲みやすい酒を提供する（福岡市のあら木）



福岡で続々開店 高回転率で稼ぐ

は写真を撮る人が多く、女性にも人気だ。女性客を意識し、豚肉とフォアグラのペーストを混ぜたパテドカンパニー（350円）などのフレンチも用意した。「フレンチオレレンジが香るハイボール」など口当たりのいい酒もそろえた。主要メニューは300円前後、酒も300円からと低価格にし、手軽さを訴求する。

福岡には酒販店の一角で飲む「角打ち」など立ち飲み文化が以前からあるが、客はサラリーマンが中心だった。一方、新規出店の店は写真映えす

のぶちゃんマン（京都市）の立ち飲みバー「お酒の美術館」を店内に併設。あまり流通していないウイスキーを1杯500円から提供する。珍しい酒やコンビニの総菜を持ち込んで飲み、インバウンドも多く来店している。コンビニの売り上げも、前年比3割増という。福岡の飲食事情に詳しいホットペッパーグルメ外食総研の有木真理上席研究員は「福岡には気軽に酒を飲む風土が根付いており、立ち飲みは女性らを開拓してさらに増えるだろう」とみている。（大城夏希）

福岡には酒販店の一角で飲む「角打ち」など立ち飲み文化が以前からあるが、客はサラリーマンが中心だった。一方、新規出店の店は写真映えす

は写真を撮る人が多く、女性にも人気だ。女性客を意識し、豚肉とフォアグラのペーストを混ぜたパテドカンパニー（350円）などのフレンチも用意した。「フレンチオレレンジが香るハイボール」など口当たりのいい酒もそろえた。主要メニューは300円前後、酒も300円からと低価格にし、手軽さを訴求する。

福岡には酒販店の一角で飲む「角打ち」など立ち飲み文化が以前からあるが、客はサラリーマンが中心だった。一方、新規出店の店は写真映えす

福岡には酒販店の一角で飲む「角打ち」など立ち飲み文化が以前からあるが、客はサラリーマンが中心だった。一方、新規出店の店は写真映えす

福岡には酒販店の一角で飲む「角打ち」など立ち飲み文化が以前からあるが、客はサラリーマンが中心だった。一方、新規出店の店は写真映えす